

総合リハビリテーションセンター病院部門への公営企業会計の導入について

1 検討の経緯

- 平成30年度に「総合リハビリテーションセンター経営管理チーム会議」において、病院部門に公営企業会計を導入することによるメリット、デメリットの整理を行った。

<メリット>

病院部門の経営状況がより客観的に明らかになり、経営改善に向けた他の病院との比較や経営状況の分析が容易になること

など

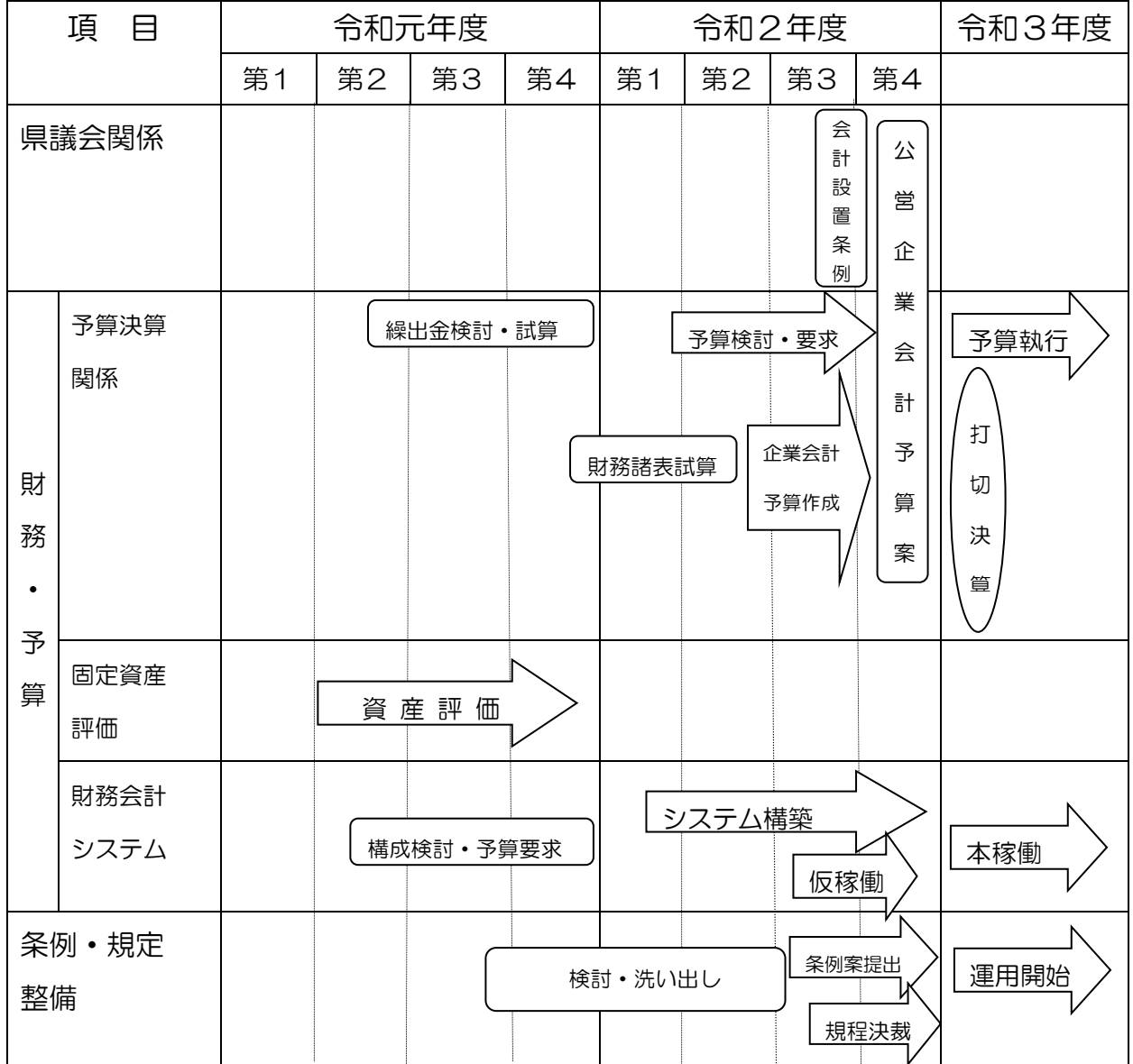
<デメリット>

公営企業会計を導入するに当たり、資産評価や財務システムの導入などに費用を要すること

など

- 検討の結果、公営企業会計導入のメリットが大きいこと、また、運営形態を決定するにあたっては、経営状況をより正確に把握する必要があることから、今後2年程度の期間をかけて一般会計から公営企業会計に移行することとした。
- 今年度から、公営企業会計への移行に向けた準備を進めている。

2 移行スケジュール



※その他、事前の職員研修、出納取扱金融機関の告示、総務省への報告など